



2020年1月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年3月9日
上場取引所 東

上場会社名 ミライアル株式会社
 コード番号 4238 URL http://www.miraial.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 兵部 匡俊
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部経理課長 (氏名) 板羽 恒 TEL 03 (3986) 3782
 定時株主総会開催予定日 2020年4月22日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2020年4月23日
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年1月期の連結業績（2019年2月1日～2020年1月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年1月期	9,582	△4.3	1,250	△15.9	1,355	△16.9	913	△27.3
2019年1月期	10,013	17.9	1,486	35.4	1,630	14.5	1,255	15.7

(注) 包括利益 2020年1月期 705百万円 (△47.1%) 2019年1月期 1,334百万円 (1.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年1月期	101.58	—	5.1	6.1	13.0
2019年1月期	139.65	—	7.3	7.4	14.8

(参考) 持分法投資損益 2020年1月期 ー百万円 2019年1月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年1月期	22,118	18,251	82.5	2,030.67
2019年1月期	22,613	17,815	78.8	1,982.17

(参考) 自己資本 2020年1月期 18,251百万円 2019年1月期 17,815百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年1月期	1,372	△1,747	△382	8,296
2019年1月期	962	△795	△381	9,053

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2019年1月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年1月期	—	10.00	—	20.00	30.00	269	21.5	1.6
2021年1月期	—	10.00	—	20.00	30.00	269	29.5	1.5
2021年1月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 現時点において2021年1月期の配当金については未定であります。

3. 2021年1月期の連結業績予想（2020年2月1日～2021年1月31日）

通期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であることから、開示しておりません。連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 ー社 (社名) ー 除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2020年1月期	10,120,000株	2019年1月期	10,120,000株
2020年1月期	1,131,928株	2019年1月期	1,131,890株
2020年1月期	8,988,075株	2019年1月期	8,988,159株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年1月期の個別業績（2019年2月1日～2020年1月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年1月期	7,384	△10.5	1,006	△16.6	1,111	△17.6	743	△26.2
2019年1月期	8,248	20.4	1,206	46.1	1,348	17.2	1,008	21.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年1月期	82.76	—
2019年1月期	112.16	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年1月期	20,523	17,102	83.3	1,902.85
2019年1月期	21,302	16,660	78.2	1,853.66

(参考) 自己資本 2020年1月期 17,102百万円 2019年1月期 16,660百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(未適用の会計基準等)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計期間における当社を取り巻く経営環境は、米中貿易摩擦等の影響により、中国を始めとしたアジア地域ならびにその影響を受けた欧州地域等の景気の減速もあり、半導体関連製品の需要は軟調に推移しました。成形機事業においても、設備投資抑制等の影響により、受注状況は悪化したものの、前年受注分においては順調に出荷される状況となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高9,582百万円（前期比4.3%減）、営業利益は1,250百万円（前期比15.9%減）、経常利益は1,355百万円（前期比16.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は913百万円（前期比27.3%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（プラスチック成形事業）

当連結会計年度の売上高は7,671百万円（前期比9.5%減）、営業利益は1,374百万円（前期比12.3%減）となりました。

（成形機事業）

当連結会計年度の売上高は1,830百万円（前期比21.4%増）、営業利益は230百万円（前期比18.1%減）となりました。

（不動産賃貸等事業）

当連結会計年度の売上高は152百万円（前年同期比増減なし）、営業利益は94百万円（前期比1.9%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

（流動資産）

当連結会計年度末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,466百万円減少し、12,432百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少757百万円、受取手形及び売掛金の減少266百万円があったこと等によるものであります。

（固定資産）

当連結会計年度末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて971百万円増加し、9,685百万円となりました。これは主に、有形固定資産の増加970百万円があったこと等によるものであります。

（流動負債）

当連結会計年度末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて961百万円減少し、2,146百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少781百万円があったこと等によるものであります。

（固定負債）

当連結会計年度末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて30百万円増加し、1,720百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少99百万円があったものの、退職給付に係る負債の増加103百万円があったこと等によるものであります。

（純資産）

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べて435百万円増加し、18,251百万円となりました。これは主に、配当金の支払269百万円があったものの、親会社株主に帰属する当期純利益913百万円の計上があったこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュフローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ757百万円減少し、8,296百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,372百万円（前年度は962百万円）となりました。法人税等の支払額458百万円があったものの、償却前税金等調整前当期純利益1,707百万円の計上等により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、△1,747百万円（前年度は△795百万円）となりました。保険積立金の払戻による収入51百万円の計上があったものの、有形及び無形固定資産の取得による支出1,802百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、△382百万円（前年度は△381百万円）となりました。これは配当金の支払額269百万円、長期借入金の返済による支出99百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

2021年1月期につきましては、半導体関連製品は調整局面による需要の軟化の継続を想定しております。

また、米中貿易摩擦や新型コロナウイルス等の影響による経済活動の停滞が懸念されます。

このような経営環境のなか、当社主力製品である「FOSB」等については、微細化技術の進展とともにますます厳しくなる高精度化要求に応える製品開発、顧客要求に応えるべく品質向上に努めて参ります。

成形機事業におきましては、市場動向を注視し、付加価値の高い特殊機に重点をおいて利益の確保に注力いたします。

また、グループ内連携を深め、経営資源を効率的に活用し、新分野展開を図って参ります。

連結業績予想につきましては、当社グループの主要製品が属する半導体業界およびシリコンウエハ業界の事業環境の影響により、需要が短期間で大きく変化するため、現時点で合理的に算定することが困難であることから未定といたしました。今後、連結業績予想の合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年1月31日)	当連結会計年度 (2020年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,053,735	8,296,012
受取手形及び売掛金	3,067,826	2,801,120
商品及び製品	755,787	611,949
仕掛品	569,096	428,570
原材料及び貯蔵品	395,468	255,884
その他	57,976	39,377
流動資産合計	13,899,891	12,432,913
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,409,193	6,591,329
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,631,863	△3,800,909
建物及び構築物(純額)	2,777,329	2,790,419
機械装置及び運搬具	6,517,456	6,363,786
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,834,477	△5,750,255
機械装置及び運搬具(純額)	682,978	613,531
土地	3,522,524	3,522,524
建設仮勘定	153,582	1,168,877
その他	5,081,640	5,130,588
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,346,434	△4,384,232
その他(純額)	735,205	746,355
有形固定資産合計	7,871,620	8,841,707
無形固定資産	16,406	60,009
投資その他の資産		
投資有価証券	438,997	401,458
保険積立金	154,818	130,743
繰延税金資産	150,850	175,870
その他	80,897	75,417
投資その他の資産合計	825,563	783,489
固定資産合計	8,713,590	9,685,207
資産合計	22,613,482	22,118,121

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年1月31日)	当連結会計年度 (2020年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,763,801	982,705
1年内返済予定の長期借入金	99,996	99,996
未払法人税等	255,976	118,123
賞与引当金	193,624	222,062
受注損失引当金	3,055	2,056
製品保証引当金	8,036	1,287
その他	783,381	720,094
流動負債合計	3,107,872	2,146,326
固定負債		
長期借入金	1,125,015	1,025,019
退職給付に係る負債	237,568	340,873
役員退職慰労未払金	131,780	131,780
繰延税金負債	54,709	54,598
その他	140,591	167,760
固定負債合計	1,689,664	1,720,031
負債合計	4,797,537	3,866,357
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,111,000	1,111,000
資本剰余金	1,310,000	1,310,000
利益剰余金	16,809,571	17,452,960
自己株式	△1,759,410	△1,759,459
株主資本合計	17,471,161	18,114,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,967	△21,328
為替換算調整勘定	—	203
退職給付に係る調整累計額	334,816	158,388
その他の包括利益累計額合計	344,784	137,262
純資産合計	17,815,945	18,251,764
負債純資産合計	22,613,482	22,118,121

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年2月1日 至 2019年1月31日)	当連結会計年度 (自 2019年2月1日 至 2020年1月31日)
売上高	10,013,353	9,582,286
売上原価	7,179,543	6,912,909
売上総利益	2,833,810	2,669,376
販売費及び一般管理費	1,346,833	1,419,125
営業利益	1,486,976	1,250,251
営業外収益		
受取利息	1,144	1,029
受取配当金	13,341	34,375
保険返戻金	82,371	25,636
受取賃貸料	10,360	10,661
売電収入	49,976	44,898
その他	9,455	10,077
営業外収益合計	166,650	126,680
営業外費用		
支払利息	2,230	1,896
減価償却費	18,042	15,913
その他	2,584	3,428
営業外費用合計	22,857	21,238
経常利益	1,630,770	1,355,693
特別利益		
固定資産売却益	—	2,800
投資有価証券売却益	41,173	—
補助金収入	141,316	—
特別利益合計	182,489	2,800
特別損失		
固定資産除却損	77,263	61,613
特別損失合計	77,263	61,613
税金等調整前当期純利益	1,735,995	1,296,880
法人税、住民税及び事業税	449,787	323,730
法人税等調整額	31,009	60,117
法人税等合計	480,796	383,848
当期純利益	1,255,199	913,032
親会社株主に帰属する当期純利益	1,255,199	913,032

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年2月1日 至 2019年1月31日)	当連結会計年度 (自 2019年2月1日 至 2020年1月31日)
当期純利益	1,255,199	913,032
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△149,930	△31,295
為替換算調整勘定	—	203
退職給付に係る調整額	228,955	△176,428
その他の包括利益合計	79,025	△207,521
包括利益	1,334,224	705,511
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,334,224	705,511

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年2月1日 至 2019年1月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,111,000	1,310,000	15,824,017	△1,759,353	16,485,663
当期変動額					
剰余金の配当			△269,645		△269,645
親会社株主に帰属する当期純利益			1,255,199		1,255,199
自己株式の取得				△56	△56
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	985,554	△56	985,497
当期末残高	1,111,000	1,310,000	16,809,571	△1,759,410	17,471,161

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	159,897	105,860	265,758	16,751,421
当期変動額				
剰余金の配当				△269,645
親会社株主に帰属する当期純利益				1,255,199
自己株式の取得				△56
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△149,930	228,955	79,025	79,025
当期変動額合計	△149,930	228,955	79,025	1,064,523
当期末残高	9,967	334,816	344,784	17,815,945

当連結会計年度(自 2019年2月1日 至 2020年1月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,111,000	1,310,000	16,809,571	△1,759,410	17,471,161
当期変動額					
剰余金の配当			△269,642		△269,642
親会社株主に帰属する当期純利益			913,032		913,032
自己株式の取得				△49	△49
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	643,389	△49	643,340
当期末残高	1,111,000	1,310,000	17,452,960	△1,759,459	18,114,501

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	9,967	—	334,816	344,784	17,815,945
当期変動額					
剰余金の配当					△269,642
親会社株主に帰属する当期純利益					913,032
自己株式の取得					△49
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△31,295	203	△176,428	△207,521	△207,521
当期変動額合計	△31,295	203	△176,428	△207,521	435,819
当期末残高	△21,328	203	158,388	137,262	18,251,764

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年2月1日 至 2019年1月31日)	当連結会計年度 (自 2019年2月1日 至 2020年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,735,995	1,296,880
減価償却費	337,493	411,112
賞与引当金の増減額(△は減少)	29,134	28,438
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△7,073	△6,749
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△5,340	△999
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,441	△150,402
受取利息及び受取配当金	△14,486	△35,405
支払利息	2,230	1,896
為替差損益(△は益)	37	1,038
保険返戻金	△82,371	△25,636
投資有価証券売却損益(△は益)	△41,173	—
補助金収入	△141,316	—
固定資産売却損益(△は益)	—	△2,800
固定資産除却損	77,263	61,613
売上債権の増減額(△は増加)	△390,229	266,769
たな卸資産の増減額(△は増加)	△658,359	428,730
その他の流動資産の増減額(△は増加)	97,310	18,713
仕入債務の増減額(△は減少)	546,030	△781,098
未払消費税等の増減額(△は減少)	△95,457	173,944
その他の流動負債の増減額(△は減少)	18,773	113,349
その他の固定負債の増減額(△は減少)	2,570	3,152
その他	—	△4,428
小計	1,417,472	1,798,120
利息及び配当金の受取額	14,476	35,309
利息の支払額	△2,226	△1,896
補助金の受取額	141,316	—
災害損失の支払額	△40,700	—
法人税等の支払額	△567,577	△458,580
営業活動によるキャッシュ・フロー	962,761	1,372,953

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年2月1日 至 2019年1月31日)	当連結会計年度 (自 2019年2月1日 至 2020年1月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,062,186	△1,802,710
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	2,800
固定資産の除却による支出	—	△500
投資有価証券の取得による支出	△1,614	△1,725
投資有価証券の売却による収入	101,287	—
保険積立金の積立による支出	△1,734	△1,734
保険積立金の払戻による収入	166,636	51,446
その他	1,949	4,931
投資活動によるキャッシュ・フロー	△795,661	△1,747,492
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△103,746	△99,996
リース債務の返済による支出	△8,169	△12,583
配当金の支払額	△269,645	△269,642
自己株式の取得による支出	△56	△49
財務活動によるキャッシュ・フロー	△381,616	△382,271
現金及び現金同等物に係る換算差額	△37	△912
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△214,554	△757,723
現金及び現金同等物の期首残高	9,268,290	9,053,735
現金及び現金同等物の期末残高	9,053,735	8,296,012

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（未適用の会計基準等）

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2018年3月30日 企業会計基準委員会）
- ・「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 2018年3月30日 企業会計基準委員会）

（1）概要

国際会計基準審議会（IASB）及び米国財務会計基準審議会（FASB）は、共同して収益認識に関する包括的な会計基準の開発を行い、2014年5月に「顧客との契約から生じる収益」（IASBにおいてはIFRS第15号、FASBにおいてはTopic606）を公表しており、IFRS第15号は2018年1月1日以降に開始する事業年度から、Topic606は2017年12月15日より後に開始する事業年度から適用される状況を踏まえ、企業会計基準委員会において、収益認識に関する包括的な会計基準が開発され、適用指針と合わせて公表されたものです。

企業会計基準委員会の収益認識に関する会計基準の開発にあたっての基本的な方針として、IFRS第15号と整合性を図る便益の1つである財務諸表間の比較可能性の観点から、IFRS第15号の基本的な原則を取り入れることを出発点とし、会計基準を定めることとされ、また、これまでの我が国で行われてきた実務等に配慮すべき項目がある場合には、比較可能性を損なわない範囲で代替的な取扱いを追加することとされております。

（2）適用予定日

2023年1月期の期首から適用します。

（3）当該会計基準等の適用による影響

「収益認識に関する会計基準」等の適用による連結財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別のセグメントから構成されており、製品・サービスの経済的特徴、内容、製造方法の類似性等を考慮した上で集約し、「プラスチック成形事業」、「成形機事業」、及び「不動産賃貸等事業」の3つを報告セグメントとしております。

「プラスチック成形事業」は、シリコンウエハ出荷容器及びシリコンウエハ工程内容器等の半導体関連製品、フルイドシステム製品、電子部品、金型等のその他関連製品を製造・販売しております。

「成形機事業」は、縦型射出成形機を中心とした成形機、金型及び関連製品を製造・販売しております。

「不動産賃貸等事業」は、当社グループが保有する不動産を賃貸しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年2月1日 至 2019年1月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	プラスチック成形事業	成形機事業	不動産賃貸等事業	
売上高				
外部顧客への売上高	8,409,782	1,450,708	152,861	10,013,353
セグメント間の内部売上高又は振替高	63,432	56,632	—	120,064
計	8,473,215	1,507,341	152,861	10,133,418
セグメント利益	1,566,145	281,243	96,221	1,943,610
その他の項目				
減価償却費	253,882	18,800	33,064	305,746

当連結会計年度(自 2019年2月1日 至 2020年1月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	プラスチック成形事業	成形機事業	不動産賃貸等事業	
売上高				
外部顧客への売上高	7,603,950	1,825,473	152,861	9,582,286
セグメント間の内部売上高又は振替高	67,851	5,016	—	72,868
計	7,671,802	1,830,489	152,861	9,655,154
セグメント利益	1,374,206	230,467	94,386	1,699,060
その他の項目				
減価償却費	301,746	43,526	32,941	378,214

(注) セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象となっていないため記載しておりません。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)
(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,943,610	1,699,060
セグメント間取引消去	△4,404	2,121
全社	△452,229	△450,930
連結財務諸表の営業利益	1,486,976	1,250,251

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	305,746	378,214	13,703	16,985	319,450	395,199

（1株当たり情報）

前連結会計年度 （自 2018年2月1日 至 2019年1月31日）		当連結会計年度 （自 2019年2月1日 至 2020年1月31日）	
1株当たり純資産額	1,982円17銭	1株当たり純資産額	2,030円67銭
1株当たり当期純利益	139円65銭	1株当たり当期純利益	101円58銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

（注） 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2018年2月1日 至 2019年1月31日）	当連結会計年度 （自 2019年2月1日 至 2020年1月31日）
親会社株主に帰属する当期純利益 （千円）	1,255,199	913,032
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益（千円）	1,255,199	913,032
期中平均株式数（千株）	8,988	8,988

（重要な後発事象）

該当事項はありません。